

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1220号	氏名	谷 政治
論文審査担当者		主査教授	永田 泉
		副査教授	奥村 寛
		副査教授	上谷 雅孝
論文審査の結果の要旨 1. 研究目的の評価 本研究は予後不良とされる神経膠芽腫の放射線耐性・抗癌剤耐性に着目し、これを分子生物学的手法を用いて減少させることにより予後の改善を目指したもので、目的は十分に妥当である。 2. 研究手法に対する評価 本研究ではヒト神経膠芽腫細胞株 T98G を用いて検討し、遺伝子導入および遺伝子発現・蛋白発現・細胞増加率の評価等を標準的な手法で行い、さらに統計学的手法を用いて解析しており、研究手法も妥当である。 3. 解析・考察の評価 上記手法で検討した結果、抗 γ-Glutamylcysteine Synthetase ハンマーヘッド型リボザイムはヒト神経膠芽腫細胞株 T98G においてその放射線およびシスプラチン耐性を減じる効果があることを示し、その機序と今後の治療への展望について考察を加えており、神経膠芽腫における今後の放射線耐性・抗癌剤耐性の研究・治療への進展が大いに期待される。 以上のように本論文は神経膠芽腫の放射線耐性・抗癌剤耐性にかかわる遺伝子の機能の解明と治療への可能性に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			